

■招詞 テサロニケの信徒への手紙ー 5:19-21

「” 霊 ” の火を消してはいけません。預言を軽んじてはいけません。すべてを吟味して、良いものを大事に下さい。」

■礼拝の祈り

天の父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

あなたが、まことの礼拝をするわたしたちを求めてくださる。その招きにお応えして、こうして礼拝に集まることができました。とくに、今日は聖霊がくだり、弟子たちの群れが教会とされた記念のペンテコステの礼拝です。最初のキリストの教会が、主イエスを宣べ伝える教会として命を与えられました。そしてわたしたちのこの教会もこの最初の教会を受け継いで、御言葉の礼拝を捧げる歩みを続けてきました。この礼拝もその一歩だと信じます。今日この日をあたえてくださって感謝いたします。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

聖霊によって導かれ、聖霊によって主の道を歩んでいたはずが、振り返ると道からはずれていたことに気付かされています。祈ることにおいて本当に貧しい生活をしてきました。祈りの乏しさは、人を愛することに乏しい歩みを生みます。自分の疲れ、悩みを訴えることばかりになり、傍らにあるものの痛みを顧みることができませんでした。なすべきわざを行わず、しなくてもよいことばかりをし、思い煩いに生きてきました。教会もまた罪の歩みをせざるをえなかったことを思われます。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

しかし、あなたは、わたしたちの歩みの中で、なお、かけがえのない恵みを持って導いてくださいます。わたしたちには聖霊がすでに、いつも、自分が忘れても決して休むことなく働いていてくださいます。今なお、頑なな心があれば、聖霊の力で柔らかな心に変え、枯れた骨のようにいのちを失って乾ききっているものがいるならば、聖霊の力で、もう一度みずみずしい生命を与えてください。聖霊の豊かに働く教会に生きる歩みを、御言葉によって生き生きと取り戻させてください。

こうして造られている主の体の交わりの中に、痛みがあり、信仰の戦いがあります。自分の中の、人を憎む罪と戦わなくてはなりません。いつ信仰の道からそれるかもしれない弱さがあります。信じない心があります。それらに打ち勝つ御言葉をお与えください。聖霊が打ち勝ってくださると信じさせてください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<ペンテコステ合同礼拝感謝>

ペンテコステの礼拝を感謝いたします。

初めの教会と同じ聖霊が、わたしたちの教会にも働いていることを信じます。今、世界中の教会にも同じ霊が働いてくださることを信じます。聖霊によって、主イエスがおっしゃったとおり、あなたを父と呼ぶことができる幸いへ招き入れていただきました。

なによりも聖霊は教会をお立てになりました。聖霊はこの藤沢北教会もたてられました。長老会をつくり、礼拝堂を建て、なによりも、多くの人が洗礼を授けられました。今も御言葉を伝えています。すべて聖霊によるあなたのみ業です。あなたの御用のために教会とわたしたち一人ひとりが用いられてきたことを感謝いたします。しかしまた、教会の歩みの中には多くの罪があったことをも認めなくてはなりません。けれども、あなたの赦しによって、藤沢北教会の歩みは続いています。聖霊がますます豊かに働いて、まことの命に生き平和をつくるわたしたちの礼拝、伝道を確認にしてくださいますように。

<困難の中にいる人を救ってください>

心や体に病気、困難を覚えているものがあります。どうか癒しを与えてください。体の痛みがあります。先の不安があります。希望を与えてください。どうか御言葉によって体の困難の中にも与えられる命を、本当の主イエスの平安を与えてください。病気の家族、年老いた家族を支える者がいます。友のことを祈る者があります。どうか顧みてください。

また、この世では、今も争いが繰り返されています。弱い者、小さい者が犠牲になるということです。そして、人間は愚かであるということです。わたしたちは戦争をし、またそれを止めることができません。自分が巻き込まれていないからといって他人事のように思ってしまう愚かさがあります。あなたしかこの地上に平和をもたらせてくださる方はおられません。どうかまことの平和を与えてください。そのために、平和を作り出すものとして、あなたの御用のためにわたしたちをお用いください。

<祈りをますます深くしてください>

あなたは祈りに招いてくださいます。今週の生活もますます深い祈りの中に歩ませてください。

■祝福 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。